

クラウドファンディング(実施中!)

毎年恒例となっている、アフガニスタンの子どもたちへ給食を提供するためのクラウドファンディングを、2024年12月15日～2025年2月末まで、実施しています。ぜひ、ご支援いただきたくお願い申し上げます。

2024年中には、海外からの支援も含め、400万円以上の支援金をアフガニスタンに送金することができました。たくさんみなさまにご支援いただき、本当にありがとうございました。

先が見通せないアフガニスタンの未来にも、たくさん笑顔があふれる子どもたちの姿があり、それを守ろうとする仲間がたくさん活動しています。なかなか直接会うことはできませんが、常に支え合い、互いに応援する仲間であり続けたいと思います。長年にわたるみなさまのご支援に心から感謝いたします。引き続き、みなさまのご支援・応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

アフガニスタン 冬の食糧支援2024



子どもたちに給食を!

アフガニスタン冬の食糧支援! 飢餓が心配される子どもたちに給食を!

<https://readyfor.jp/projects/foodforkids2024> ※2/28まで実施



理事長の独り言

「疾風怒涛」という言葉が、本当にぴったりだと感じられた1年でした。社会の様相も激しく変化していき、子どもを含む人間社会全体が大きな変化に対応を迫られているように思います。そんな中、NPO法人みんなの夢の音楽隊は、ひとりひとりの夢が叶う世界を目指して、長く活動を続けてきていると思います。ひとつひとつの事業が進化したり、新しい事業が始まったり、そこには新たな人が現れていたり、大きく成長した人がいたりします。NPO法人みんなの夢の音楽隊は、組織としての目的をあえて持たず、そこにいるひとりひとりの夢や目標を、一緒に達成していく仲間や友人のような存在でありたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします♪



さて、理事長の独り言ですが、2024年は我が家の娘たちの成長にも驚かされました。4月から通信の高校に進学し、イラストの専門学校にも入学し、ダブルスクールとなった次女は、まさに夢に向かって邁進しています。長女は高校3年生になり、進路に悩みつつ、大きな選択に決意を固めているようでした。2025年も楽しく突き進んでいきたいと思います♪

2025年1月15日

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊 今川夏如

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊 メンバー募集中

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊は、みなさまの寄付によって運営されています。私たちの活動に賛同し、協力してくださるメンバーを募集しています!

- 正会員(総会での議決権を持ちます) 年会費10,000円または月会費750円
 - ゆめうたサポーター 1口(6カ月) 3,000円または月会費500円
 - MMCCサポーター・DAWNサポーター 1口(6カ月)3,000円または月会費500円
 - ゆめうたサポーター 月々500円以上の定期寄付(クレジットカードによる月々自動引き落とし)のご登録
- ※会費・ご寄付のお支払いは、年払い一括または、クレジットカードによる月々の継続寄付がご利用いただけます。
※会員・寄付者のみなさまには、不定期(年1～2回)でゆめうたニュースをお届けします。※賛助会員は無くなりました。

お問い合わせ TEL048-783-5771 FAX048-783-5772 info@yumeuta.com 郵便振替 00160-8-352345 認定特定非営利活動法人みんなの夢の音楽隊

寄付は
WEBで
簡単に♪

みんなの夢の音楽隊は皆様の寄付で運営されています。ホームページから簡単にお手続きができます。ぜひご支援、ご協力をお願いいたします。



認定 NPO法人みんなの夢の音楽隊

ゆめうた No.72 NEWS

2025年1月(第72号)
不定期(きまぐれ)発行

バックナンバーは www.yumeuta.com

認定特定非営利活動法人 みんなの夢の音楽隊
〒338-0811 埼玉県さいたま市桜区白銀202-19
TEL 048-783-5771 FAX 048-783-5772
info@yumeuta.com
編集・発行 今川夏如

開催

第2回夢桜さいたま祭り & 子ども応援まちフェス桜!

2024年春、2回目の開催となる2つのイベントを開催しました。人のつながりも増え、新たに応援してくださった店舗、企業も増えました。引き続き、地元で愛されるイベントにしていきたいと、初の「さいたま子ども応援未来会議」として、報告会、参加団体同士の交流会も開催しました。

子どもがつくる子どもまつり「夢桜さいたま祭り」

2024年3月10日(日)さいたま市桜区プラザウエストにて開催しました。小学4年生から中学3年生までの子どもスタッフ24名を中心に、企画準備をしました。子どもしか入場できない「子ども専用エリア」と、未就学児や一般の方なども入れる「誰でもかんげいエリア」に分かれています。安全に考慮して製造した食事やお菓子、ジェットコースターやゲームなど、子どもだけの世界を楽しんでいました。誰でもかんげいエリアでは、缶バッチや小豆つかみゲーム、ドローンでお菓子つかみ、紙コップタワーにクラウンリオなど、未就学児の親子でにぎわっていました。



▲頑張って作りました!



▲昔遊びも人気



▲真剣な参加者

春休み!子ども応援まちフェス桜!

2024年3月27日(水)から4月7日(日)の春休み期間に、桜区内外の企業や店舗の独自企画を実施しました。様々な職業体験やサービスに協力いただいた店舗数は47、参加者数は約530名と、まち全体で盛り上がりました。美容院やカフェスタッフなど憧れの職業体験や、蕎麦打ち体験や鍛冶屋体験、ガラス工房などレアなものも。身近にいるすごい大人たちから仕事を教わり、たくさんのメッセージも集まりました。これからも、子どもたちを応援していきます!



▲钣金工場でパテに本格塗装!



▲自分だけのそろばん作り



▲棒パンづくり

初!さいたま子ども応援未来会議

2024年4月20日(土)プラザウエスト多目的ルームにて、大交流会を開催しました。地元のお店のお料理もあり、新たな横のつながりも生まれ、「子どもたちに明るい未来を!」との気持ちもさらに高まった会となりました。



開催 夏休み!ネイチャーラボ2024@館岩少年自然の家

2024年8月22日(木)~24日(土)で、夏のネイチャーラボを開催しました。小中学生82名、大人スタッフは19名、計101名の参加です。

事前に3回、事前学習の集いを市内各所で行い、スローガンや係決め、キャンプファイヤーや歌の練習などをして挑みます。館岩少年自然の家は教育施設のため、子どもたちは自分で、決められた係や配膳なども行います。毎回実感することですが、初日と最終日には、子どもたちがぐんと頼もしく成長します。大きく成長した子どもたちの様子を、一部ですがご報告いたします。

1日目

朝7時、さいたま新都心バスターミナルを大型バス2台で出発。お昼に現地到着し、入所式を行います。事前に決めた司会係がスムーズに進行をします。みんなで練習した館岩少年自然の家の歌も大変上手でした!

食事係を中心に食堂でお昼ご飯です。配膳の仕方や片付け方などのルールを守りながら、みんなでいただきます!食後は探検もかねて、オリエンテーリング。広大な敷地内を地図を頼りに、グループごとにミッションをこなしていきます。頑張った!室内のリネンを整えます。10人部屋のベットにわくわく!散らかさないようにね。

そして夜はキャンプファイヤー!この日のために、たくさん歌も練習しました。踊りも練習しました。まだ初日なのに、きれいな炎のまわりで全力で歌い、踊り、笑う子どもたちに、大人スタッフは泣きそうでした。

そのあとは温泉。ゆっくり疲れをとります。室長は毎日この時間に会議があり、部屋のメンバーに、明日の予定などを伝えて就寝します。毎回きちんとメンバーに伝達事項が伝わっており、立派な室長さんたちでした。



▲入所式



▲食堂でごはん



▲キャンプファイヤー! 歌って踊ったね!

2日目

朝は6時起床です!外で体操など、朝のつどいをしたら朝ごはん。そのあとはいよいよ!イワナキャッチ&さばきです!泳いで魚をとる難しさ、激しく動く魚を気絶させてさばく、命の大切さ。全員が何かを感じ、強烈な印象を残す体験です。がんばりました。

イワナをさばいたら次は源流体験です。自然の雄大さを感じながら、ラストの滝のぼりはみんなの思いでTOP3に入ります。ロープを使って滝を登る体験、一生忘れないでね。

お昼に、さばいたイワナをいただきました。美味しい!普段は魚は嫌いなのに、今日は食べることができた、という子どももいました。



▲イワナ美味しい!



▲イワナさばき 目刺しもむずかしかった



▲イワナ取れた!



▲源流体験 滝のぼり

午後はネイチャーストラップ作り。みんな一生懸命取り組みました。上手にできました。家族へのおみやげになりました。

その後、野外炊飯に入ります。火起こし係、野菜カット係、飯盒係に分かれます。火起こしはキャンプなどで慣れている男子もいて、経験値があると頼もしいですね。野菜カットも、「お母さんはいつもこんな感じだった・・・」と切るのですが、たぶん違うと思う(笑)というサイズ感だったり、見ていて楽しい限り。飯盒も、出来上がって蓋を開けた時、成功していると歓喜の音が!苦労して自分たちで作ったカレーは最高の味。

夜はナイトハイク、星空観測へ。懐中電灯を消すと真っ暗です。静かな、暗闇を、明かり一つで歩きます。「夜ってこんなに静かなんだね。」新しい発見です。明かりを消して、目が慣れてくると、真上に満天の星。少し曇りでしたが、たくさんの星が見えました。「わあ」子どもたちから感嘆の声。人は感動したときは無口になります。暗くて静かな夜、たくさんの星。2日目は多くの自然に触れた1日でした。



▲クラフト作り のこぎり初めて!



▲上手に書けました



▲上手に切れてる



▲いい火だ!

3日目

最終日。朝食後は退所確認。来た時より美しく。ハンガーの向きひとつ、間違っていると合格できません。メンバーで協力して、全員で片付けます。今回は過去最短記録で合格!全員協力できました!

最後のカリキュラム、前山登山です。かなりハードです。でも事前に子どもたちのアンケートで上位だったから組み入れたのですが…。大人には結構ギブレベル。リタイアOKとしていましたが、ほとんどの子どもたちは挑みました。すごいなあ。

退所式をして帰ります。みんなが本当にたくましくなりました。この成長が一番うれしいのです。やっとみんなの個性が見えてきたところで、お別れがいつも辛いです。たくさん子どもたちと大自然での体験活動。しっかり準備して、満足のいく結果となりました!



▲よくがんばりました!



▲登山へ!



開催 さいたま市子どもがつくるまち(サイデン化学アリーナさいたま)

2024年11月、さいたま市子どもがつくるまち(サイデン化学アリーナさいたま)を開催しました。6月のプロポーザルに始まり、9月から5回の子どもスタッフとのまち会議、その間には大人スタッフも数々のミーティングをして準備をすすめました。子どもスタッフは小学4年生から6年生の59名。今年度も、オンラインのまちとリアル会場でのまちのハイブリッド開催です。今年度は、(株)ハッピースマイルさんのオフィスでまち会議を開きました。きれいで、会社ってこんな感じ?と子どもたちのワクワクしている気持ちが伝わりました。
(主催:さいたま市 受託事業者:NPO法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター)



▲まち会議のようす

オンライン子どもがつくるまち(11月9日~11月17日)

我々の代名詞ともいえるオンラインのまち。オンラインのまちの参加者数は781名と、前回よりもたくさんの参加者が楽しんでくれました。一般参加者から、ご意見箱で、まちの名前や通貨の名前、まちのイメージ等を募集し意見を募り、まち会議でその意見を集約して決定していきました。まさに全員参加のまちづくり。市長選挙も立候補動画に投票してもらい、実施しました。欲しいお店の業種など、様々な意見をオンライン上の参加者から聞くことができました。朝礼台やおしゃべり広場など、子ども同士がコミュニケーションを取れる場所をつくり、楽しんでいる様子うかがえました。

7つのエリアに分かれてお店を展開。しゃてきやボール当て、クレーンや迷路などのゲーム系は、子どもたちのアイデアをシステム化した、オリジナルのゲームです。競馬や野生動物の餌付けゲームなど新しい視点のゲームもありました。レジンやプラバンなどのかわいいアクセサリショップもたくさん。お店のイラストやアイデアなど、子どもたちが頑張っており取り組まれました。

住宅などのイラストを送ると、オンラインのまちに反映されて、家が増えていきます。特に朝礼台などコミュニケーションが取れる場所は大人気で、違う学校のお友達ができることを楽しんでいるようでした。

アンケートでも、ほとんどの子どもたちが「もっと遊びたかった」との意見をくれており、嬉しく感じました。オンラインのまちでの通貨、「ニコ」はリアル会場で換金でき、使ったり、貯金しておいたり様々でした。どちらにも参加してくれる子どもが多く、楽しんでもらえたようでした。



▲たくさん感想が!



▲おばけアーチェリー



▲わなげゲーム



▲しゃてきゲーム



▲手作りプラバンハウス



▲たくさんのマイホームが!

スマイルタウン

リアル会場のまち(11月24日)

当日はサイデン化学アリーナさいたまにて、午前午後の入れ替え制で開催しました。参加者数は467名。店舗数は45以上のお店がありました。多くの子どもたちが楽しんでくれました。

昨年度大人気だった、外周を走るタクシーも復活。今回も、お客様はいないけど外周を走り続ける、もはや新しいスポーツと化したタクシー多数。子どもたちは汗だくでした。また、サブアリーナではカートで走る競馬場もありました。オンラインにあったゲームのリアル版も多く出店。しゃてきや迷路、ボール当てなど、体を使ったゲームで遊びます。クレーンゲームはオール手作りの力作!アクセサリショップには、かわいい商品が並びます。頑張って作りました。

自分が描いた絵本なども販売。古本屋さんもありました。なぜか、ヨギボーやハンモックのリラックスコーナーも人気があり、汗をかいたり、くつろいだり、それぞれのペースで楽しめるまちとなっていました。今回から、楽器体験コーナーも。本物の楽器を、子どもが自由に使える場所は少なく、よい経験になったのではないかと思います。学校でドラムをやっている子どもスタッフが、ドラムを披露したり、個々の個性を、学校とは違って遠慮なく発揮できる場所でもあったのではないかと思います。



▲さあ、入場♪



▲だんぼーんコースターは大人気!



▲タクシーも人気



▲しゃてきもリアルで!



▲小さい子には作ってあげるなど優しい子どもスタッフ



▲放送もがんばりました



▲楽器体験コーナー

アルバイトも工夫して頑張っていました。子どもスタッフも、どうしたら短い時間で仕事が教えられるか、工夫をしながら考えました。

アンケートでも9割以上が満足、楽しかったと答えてくれた、子どもがつくるまちとなりました。



▲アルバイトも頑張ります!



▲一生懸命呼び込みのお仕事



▲立派な店員さんだね

